

君の人生の夢はなんですか？

工学部長 伊藤 洋

アメリカのMicrosoft社の創業者ビル・ゲーツは、ハーバード大学1年在学中にマイクロコンピュータ用の簡易言語「BASIC」を開発し、これを売り出しました。当時はマイクロプロセッサの黎明期で、お宅族を中心にマイコンブームが米国や日本で盛んになっていました。このBASICは、なかなか使い勝手がよいという評判で、8bitのマイコンに必須のソフトウェアになりました。これは、日本語にも翻訳されN88BASICとして、草創期のマイコンファンを魅了したものです。そして、これが現在のVisualBASICに承継されています。

この利益に気をよくしたビル・ゲーツはハーバード大学を一年で中退して、従業員人のマイクロソフト社という会社を創業して社長に就任しました。その後、マイクロソフト社はDOS (Disk Operating System) という16bitマイクロプロセッサ用の基本ソフト (OS) を発売し、パーソナルコンピュータの技術発展の基礎を作り上げました。好き嫌いは別にして、ビル・ゲーツこそ、現在のパソコンの生みの親とって間違いはありません。

ビル・ゲーツが、受験界では世界一の難関大学であり、名門の誉れ高いハーバード大学を一年で辞めてしまったのは米国の若者の価値観からすればそう突飛なことではありません。米国の青年にとって、大人になったら何になるかという夢の第一位は今も昔も「社長」です。ちなみに、日本の大学生の夢は、いい大学に入って公務員になることが圧倒的に第一位です。

ビル・ゲーツにとっては面白半分が開発したBASICが飛ぶように売れ、お金が入り、会社を作って社長になれたのですから、もう大学に行く必要はありませんでした。DOSの後にWindowsというOSを発売し、いまや世界のデファクトスタンダードを作り上げ、かつ弱冠40歳にして全米一のビリオネア (億万長者) になりました。そしていまは、100兆円の財団を作って環境問題に関する活動を支援することが彼の夢だそうです。

新入生の皆さん、皆さんの夢は何ですか？ やっぱり公務員になることですか？ ちなみに山梨大学工学部の卒業生には創業社長の多いこと、これが特徴です。この伝統を継承しようとは思いませんか？

もし君が宗旨を変えて、そう思い直すなら、たった今から全霊を込めて知恵を磨くことです。